

9月
定例会の
あらまし

令和2年9月定例会は8月21日から9月18日まで29日間にわたって開かれました。
初日には、町長が向こう4年間の所信を表明。町長提案の議案20件を審議し、全て原案のとおり可決しました。(2～4ページ)

元年度決算8件は、決算特別委員会を設置して2日間にわたって集中的に審議し、全て原案のとおり認定しました。(5～8ページ)
一般質問では10人の議員が登壇し、活発な議論が行われました。(10～19ページ)

佐藤町政 3期目の所信をただす

復興の先を見据えた

新たなチャレンジに挑む

定 例会初日、佐藤町長は、3期目の町政を担当するに当たり、町政全般にわたる所信表明を行いました。

町長は、町政1期目について『民間感覚を行政に』の思いを胸に、山田町の復興を確実に果たすべく、走り続けてきた。2期目について『思いやりのある政治』を政治理

念として掲げながら、ハード面の整備のみならず、町民の皆様一人ひとりの思いと心の復興を大切にし、町政運営に当たってきた」と振り返りました。その上で、3期目となる4年間については「これまでの信念をいささかも変えることなく、これまで以上に町民の皆様の声に耳を傾けな

がら、一つひとつ政策を実行していく所存であり、『誠実・実行』を基本姿勢として、力を尽くしていく」との思いを語りました。

具 体的な施策として今回出馬する際に掲げた6項目の公約について説明し「最優先課題として取り組んできた『震災からの復旧・復興』は今

